



2024年度 全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ 第6戦 GCTクリテリウムラウンド 大会要項

ver.241125

主 管 日本学生自転車競技連盟
 協 力 東京都自転車競技連盟
 協 賛 井上ゴム工業株式会社 株式会社イノアックコーポレーション 株式会社日直商会 株式会社パールイズミ
 株式会社オージーケーカブト

大会日程 **2024年11月28日(木)** 20:00 チーム監督/代表者会議
2024年12月 1日(日)

11:00 受付(ゼッケン配布、欠場確認)～11:30まで(大会本部)
 11:30 競技役員・立哨役員打合せ(大会本部)
 12:00 メディアミーティング
 13:10 開会式 コースサークル内
 13:30 オープン&ウォームアップライド (0.8km×5laps=4km)
 14:00 男子大学生グループ2+パラサイクリスト(0.8km×15laps=12km)
 14:20 男子大学生グループ1(大学対抗) (0.8km×25laps=20km)
 15:10 表彰式 SF地点
 15:30 男子大学生グループ3 A組+女子 (0.8km×10laps=8km)
 15:50 男子大学生グループ3 B組 (0.8km×10laps=8km)
 16:20 表彰式・閉会式 SF地点
 17:00 規制解除

注: エントリー状況により距離/時間は変更となる場合があります。

会 場 東京都江東区青海1丁目 東京都シンボルプラザナード公園セントラル広場特設周回コース 1周回:0.8km
 最寄り駅: りんかい線「東京テレポート」駅、ゆりかもめ「台場」「青海」駅

大会主旨 本大会は、実力クラス別レース優勝者の決定を通じて、大学生・パラサイクリスト・地域社会のスポーツ交流・親交・強化を図り、以って首都・東京に於けるサイクリススポーツの普及・発展を図ることを目的とする。

競技種目および参加資格

参加資格 1. 出場選手

- ・当該年度に有効な(公財)日本自転車競技連盟(以下、「JCF」という)登録競技者または、UCI加盟国内連盟の発行する競技者ライセンス保持者であること。ただし、パラサイクリングはパラサイクリングライセンス保持者で、女子参加選手は本連盟の登録選手であることは問わず、本連盟が参加を認めた者とする。
- ・学連登録選手については、受講実績として有効な期間内の座学講習会、実地研修会を事前に少なくともそれぞれ1回ずつ以上受講済であること。
- ・オープン参加選手にはセーフティライド講習を義務づけ、講習会を実施予定。
- ・RCSポイント対象者は、日本学生自転車競技連盟加盟校の登録選手とする。

2. 出走カテゴリおよび各カテゴリの定員・資格

- ・本連盟加盟校の登録選手が所属するロードのグループについては、参加申込時において当連盟が確認済のロードのクラスでエントリーを受け付ける。
- ・グループ1 40名前後 学連登録選手 クラス1または2 1校あたり4名まで
 欠場者がある場合当日ゼッケン配布時にグループ2参加申込者より2名まで補欠起用する事が出来る
- ・グループ2 40名前後 学連登録選手 クラス1または2、男子パラサイクリストのオープン参加を認める
- ・グループ3 80名前後 学連登録選手 クラス3
- ・女子 40名前後 学連登録選手と本連盟が認めたU23JCF登録競技者、女子パラサイクリストのオープン参加を認める

3. チームスタッフ

- ・JCF又はUCI加盟国発行ライセンスを所持していること。
- ・ただしチーム監督/代表者は競技者ライセンスのみの保有者は務めることは許容されず、コーチ、チームアテンダント、審判のいずれかのライセンスを所持している必要がある。
- ・チーム監督/代表者は、別途コミュニケ等により発表する所定の座学講習会を事前に少なくとも1回以上受講済であること。
- ・チームスタッフリストにより届け出たスタッフのみが器材ピット・大会本部に立ち入ることができる。

4. 緊急時搬送同行・送迎要員

- ・大会中に選手を医療機関等に搬送する必要がある場合、チームの責任において搬送すること。救急車を要請した場合、同乗者はチームの責任において選任すること。
- ・緊急時搬送同行・送迎要員は、必ずしも競技ライセンスを必要としない。また、チーム監督/代表者、コーチ等が兼任してもよいが、競技中であっても救護活動を優先すること。
- ・エントリー用紙に緊急時搬送同行・送迎要員としての氏名の登録を必須とする。

5. 供出役員

- ・本大会については受付完了者のチームごとの出場および予定人数により、役員を供出することを参加条件とする。
- ・供出役員はJCF又はUCI加盟国発行ライセンスを所持していること。(競技者ライセンスでも可)
 男子大学生グループ1に参加チームは1名(東京・神奈川・埼玉・千葉が登録地のチームは2名)
- ・上記以外(グループ2,3 女子)の各チーム出場予定合計人数に応じて以下の通り供出すること。

エントリー4~6名の場合に1名,7名以上は2名

- ・1名の場合は審判ライセンス保持者とし、2名の場合少なくとも1人は審判ライセンス保持者とする。
 - ・本大会のエントリー用紙に供出予定役員の氏名・ライセンス番号等の必要事項を記入すること。
 - ・供出役員については昼食を支給する(但し、交通費・宿泊費及び日当の支給は行わない)。
6. 供出役員の変更
- ・エントリー用紙に記入した供出役員名を変更する場合は、大会開催3日前の22時までに当連盟事務局宛てに変更後のエントリー用紙をメールで送ること。これ以降の供出役員の変更は認めない。
 - ・当日エントリー選手数が減少した場合でも、供出役員の人数は減らすことはできない。また、供出役員が当日の急な発熱等、体調不良により参加不可能な場合には代わりの者を出すこと。代わりの者を出せない場合は、実際に参加可能な供出役員数に対応する選手数に出走者数が限定される。もしくは該当する大学・チームに対して、1名の不足につき10000円のペナルティを科す。
 - ・感染症などにより一部もしくはすべての出場者が欠場するなどの場合は、至急事務局まで連絡すること。

参加申込 1. エントリー申込

- ・所定の様式(エクセル)でエントリー専用電子メールアドレス 2023jjcf.rcs.entry@gmail.com 宛、本連盟事務局まで申し込むこと。エクセル様式申込書はJICFウェブサイトより入手できる。エクセル様式の到着を以て参加申込の正式受領とする。
 - ・受付を確かなものとするため、エントリー概要をGoogleフォームにて下記の期限内に送付する事。
<https://forms.gle/HMcRD4CuMgcezNfv9>
 - ・申込希望者がグループ毎予定数を越えた場合、主催者判断にて出走可能者を調整する場合がある。その際は、セフティライド研修会・講習会の受講履歴(回数)、各チームの本年度登録選手人数、申込順(エントリー専用電子メールへの到達日時・時刻)を考慮する。
 - ・指定の口座へ参加料を振り込むことで、本エントリーの手続きが完了する。
 - ・ライセンスチェックは事前にデータ上で行う。選手全員のライセンスの写真画像データまたはスキャン画像データをエントリー用紙と一緒に上記アドレスへ送ること。尚、エントリー用紙のデータが重くなるので、ライセンス画像データはエントリー用紙内に挿入する事を禁じ、別ファイルにて送ること。申請中の場合、申請中であることを証明する書類のデータを添付すること。
2. 参加料
- ・男女とも本連盟加盟校登録選手は1名につき**6,000円**、それ以外のオープン参加の競技者は1名につき**8,000円**とする。
3. 申込期限および参加料納入期限
- 11月18日(月) 17時必着**とする。
4. 参加料振込先
- ・参加料の送金は銀行口座振込とする。銀行口座振込以外の支払方法は認めない。なお、大会毎に送金先口座が異なるので注意すること。
 - ・送金名義人について、振込元に大会コード名**1201**と、**XXダイガク等、必ずチーム名を記入**すること。オープン参加者についてはチーム名でなく、参加者名を記入すること。
振込口座 長野県労働金庫(ろうきん)諏訪湖支店 普通9687370 口座名義 日本学生自転車競技連盟
5. 返金
- ・定員超過により出走が認められなかった場合は、1チームあたり1,000円の手数料を差し引いて返金する。
 - ・また、一旦入金された参加料は原則として返金しないが、本大会の開催を当連盟が中止した場合には、大会開催に要した費用を差し引いた金額を銀行振込で返金するので返金用の銀行口座をエントリー用紙に記入すること。
 - ・当日の体調不良により参加不可の判断を下された場合には参加料は返却しない。
6. 欠場
- ・本大会における欠場については理由を問わず(怪我等の正当事由がない場合でも)ペナルティを科さないこととする。
 - ・ただし、受付開始時刻以前に事務局まで電子メール(jjcf@remus.dti.ne.jp)および電話(学連携帯090-2207-2369)で欠場の連絡をすること。なお、欠場の場合には参加料は返却しない。
7. 誓約
- ・申込み手続きを以て本要項記載の誓約書に同意したものとみなす。

会場入場 1. チームスタッフの登録

- ・選手数+1名を上限(選手1名ならば、2名まで)としてチームスタッフの登録を行うことができる。
 - ・監督とコーチはスタッフの合計人数に含まれる。
 - ・選手以外のチームスタッフ全員の氏名をエントリー用紙に記入すること。
2. 登録スタッフの変更
- ・エントリー用紙に記入した来場予定のチームスタッフの氏名を変更する場合は、大会開催3日前の22時までに当連盟事務局宛てに変更後のエントリー用紙をメールで送ること。これ以降のスタッフの変更・追加は認めない。
3. メディア関係者
- ・大会開催3日前の22時までに取材申請書をメールで事務局宛て提出ください。取材申請書様式は本連盟ウェブサイトにあります。

選手受付 1. ライセンスコントロール

- ・ライセンスコントロールは事前にデータ上で行い、大会受付の現場では行わない。本要項に記載の受付時間内に大会受付にてゼッケンを受け取る。欠場する場合は該当する選手の氏名を大会受付まで申し出ること。
2. バイクチェック及び出走サイン
- ・出走15分前までにバイク・インスペクションを受け、出走者サインシートに氏名を自署すること。
 - ・また、レース終了後に上位者およびランダムサンプリングによりバイクチェックを行うことがある。器材に関する規則違反が明らかになった場合、レース終了後であっても、失格となる場合がある。

3. 正当な理由なく前項の規定を履行できない選手は、参加することは出来ない。

賞典・式典

1. 式典
 - ・開会式・閉会式については本要項の時刻表に従いスタート・フィニッシュ地点近傍において行う。
2. 表彰
 - ・男子大学生グループ1（大学対抗）に出場の各校における上位者3名の順位合計の少ない学校順に順位をつける。順位合計同等の場合はより上位者を有する学校を上位とする。
 - ・表彰式は競技終了後、準備が整い次第、大学対抗、各グループ各組の上位3位以上のみを表彰する。（尚、オープン選手を含めた順位で表彰する）
 - ・優勝者：賞状・賞品、第2～3位：賞状・賞品
 - ・シリーズ総合成績第1位には、リーダーズジャージを授与する。
3. 昇格
 - ・グループ1およびグループ2に出走したのクラス2の最上位者はクラス1に昇格する。
 - ・グループ3の各組の出走者上位5%（小数点以下切り上げ）は、クラス2に昇格する。
4. RCS ランキングポイント
 - ・RCSランキングポイントについては、オープン選手を含めた順位で計算する。学連登録選手のみの順位での繰り上げはしない。

事故措置

1. 競技中発生した事故等について参加者は自ら責任を負う。
2. 主催者にて応急処置の体制は準備するが、以降は参加者の責任と費用負担にて対応のこと。
3. 各自の責任において参加者自身の傷害保険に加入のこと。
4. 各選手は、健康保険証を必ず持参すること。
5. 主催者において加入している傷害保険は、死亡1000万円、入院・通院保障なしである。

肖像権

本大会の大会期間中の肖像権は主催者に帰属するものとする。主催者からオンボードカメラ映像のデータ提供要請があった場合、応じること。

競技規則

JCF競技規則による他、詳細は本大会特別規則を定め適用する。

司法管轄

本大会への申込みを以て、本大会に関する一切の紛争（裁判所の調停手続きを含む）は、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とすることに合意したと見做す。

事務局

日本学生自転車競技連盟 E-mail: jicf@remus.dti.ne.jp URL: <https://jicf.info/>
〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 ジャパンスポーツオリンピックスクエア408
Tel 090-2207-2369（兼当日緊急連絡先） Fax 03-6804-2329

特別規則

第1条（チーム監督/代表者会議）

1. 2024年11月28日（木）20時00分より、事前にリモートでチーム監督/代表者会議を行う。参加チームの監督、代表者は必ず参加すること。
2. 会議アドレスはエントリー用紙記載の記入者のE-mailアドレスに送付する。
3. 無断で欠席した場合は該当する大学・チームに対して、罰金のペナルティを科す。

第2条（器材）

1. 当連盟HPに掲載の「日本学生自転車競技連盟の競技大会において使用する自転車に関する規程」を順守すること。（例えば、「公道上进行可能な装備を義務付ける。ベル、後方反射板もしくは反射テープも必須とする。トップギア時のペダル1回転あたり前進距離を10.3m以内に制限する。（参考：通常700Cホイール、53×11で10.217m）」など詳細は本規定を確認すること）
2. これら器材に関する条項に違反していることがスタート時に発覚した場合は、スタートは拒否される。
3. また、スタート後及びゴール後に違反していることが発覚した場合は、バイクチェックを実施したのち失格を含むペナルティの対象となることがある。
4. 最新版UCI/JCF規則が適用される。

第3条（競技）

1. 獲得周回の優位性を考慮して、フィニッシュラインに到達した順序により順位を決定するロードレース方式とする。
2. 飲食料の補給は認めない。
3. 代車・代輪の交換は、認められる事故の場合に指定されたピット（PIT）においてのみ認められる。ピットの位置についてはコミュニケーションを参照すること。
4. ピット監察員及びMOTO移動審判によって確認された認められる事故の場合、1周のニュートラリゼーションが与えられる。但し最後の2周では復帰できない。

第4条（失格・棄権）

1. 原則、メイン集団より20秒遅れた選手及び、集団から離れて集団に復帰できないとコミッセルが判断した者は失格とする。
2. 競技を中止した選手は、コースから出て、速やかにゼッケンを外すこと。

第5条（ゴミの投棄）

1. 指定されたピット（PIT）で、チームスタッフが拾う場合のみ、空ボトル・包装物などを投棄することができる。指定されたピットのチ

ームスタッフは、他のチームの選手の投棄したものであっても回収に協力されたい。

2. その他の場所でのごみの投棄が発覚した場合には 4000 円/1 件のペナルティを課す。

第 6 条 (選手の安全)

1. 安全な競技が実施できるよう、使用する自転車はよく整備すること。主催者は、自転車の整備に関する責任を負わない。

2. 自転車の整備不良により落車の原因となった選手には 4000 円/1 件のペナルティを課す。

第 7 条 (その他)

1. グループ 3 の各組について、出走者数が異なり、5%の人数に差が出る場合は、各組の昇格者は同一とする。(組間の均衡を図るため) また、欠場者が出て組間の人数のバランスが著しく不均衡となった場合、組間の出走者の移動を行う場合がある。

2. エントリー・チームのジャージ着用のこと。但し、RCS ポイント総合順位のリーダーは、リーダーズジャージを着用してスタートしなければならない。

3. 公道上进行可能な装備を義務付ける。ベル、後方反射板もしくは反射テープは必須とする。

参加申し込みの際し、以下を熟読し、申込みと同時に「内容に同意したもの」とみなす。

誓 約 書

日本学生自転車競技連盟 殿

下記大会参加にあたり、当チームの選手・監督・コーチ・メカニック・その他すべての自チーム員が以下のことを確認し、順守すること誓います。

- 1 UCI (国際自転車競技連合)・JCF (日本自転車競技連盟) 規則を順守し、誠実かつスポーツマン精神に則りフェアな態度で自転車競技に参加すること。(UCI 規則 1.1.004, JCF 規則第 5 条 2. (4))
- 2 大会 (競技中のみならず式典・公式練習等の付帯行事を含む) における参加者の肖像権は本連盟に帰属すること。(JCF 規則第 5 条 2. (9) 準用)
- 3 規則に規定される仕事と責任に加えて、チーム監督は、スポーツ活動と競技者のチーム内の自転車スポーツ実践における社会的・人的条件の管理について責任がある。(UCI規則1.1.078)
- 4 チーム監督は絶えず組織的に、可能なときはいつでも、社会的・人的条件を改善する努力をしなければならない。そしてチームの競技者の健康と安全を守らなければならない。(UCI規則1.1.079)
- 5 チーム監督は、チームに所属する者あるいはいかなる役目であってもそのために働く者により規則が順守されることを保証しなければならない。彼は他の者の模範とならなければならない。(UCI規則1.1.080)
- 6 すべてのライセンス保持者はレースのない時でも常にきちんとした服装をし、あらゆる場合において礼儀正しいふるまいをしなければならない。すべてのライセンス保持者は、おどしや、侮辱や、下品なふるまいや、他の人を危険な状態におとしめたりしてはならない。言葉、身振りや書いたものなどで他のライセンス保持者や役員やスポンサーや連盟、UCIおよび自転車競技全般の名誉や評判を傷つけてはならない。批評の権利は、穏健に、十分な動機があり筋の通った方法でのみ行使できる。(UCI規則1.2.079)
- 7 競技者はスポーツマンとしてあたえられた機会を守らなければならない。競技者間の利害に関し、いかなる共謀や偽りや誹謗は禁止する。(UCI規則1.2.081)
- 8 競技者は最大限の注意を払って行動しなければならない。競技者が原因で発生した事故に関しては自分で責任を負わなければならない。競技者は開催国における法律を順守しなければならない。(UCI規則1.2.082)

注意：大会要項は諸事情により変更される場合があるので、JICF ウェブサイトを随時チェックすること。